

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔11〕 東京都台東区立入谷老人福祉館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H23. 4. 1 ~ H28. 3. 31			
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	老人福祉センター・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入2,679,635,858円, 歳出2,542,831,771円, 収支差額13,680,487円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区入谷1-16-9					
(2) 設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。					
(3) 利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日 9時から17時まで					
(5) 規模	延べ床面積 341㎡ 鉄筋コンクリート造地上4階 浴室、教養室、茶道・囲碁将棋室、図書室など					
(6) 人員体制	4名 内訳…看護師(1)、施設管理員(非常勤4)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1) 委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練 等					
(2) 自主事業	各種サロン、地域・世代間交流事業、各種教室 等					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	27,446,000	19,588,000	19,792,114	19,644,000	16,910,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	27,446,000	19,588,000	19,792,114	19,644,000	16,910,000
決算	委託料	17,410,920	17,934,216	19,789,577	19,644,000	16,909,169
	料金収入等	0	0	0	1,113,840	7,696,571
	管理経費	17,410,920	17,934,216	18,675,737	15,061,269	18,492,736
	収支	0	0	1,113,840	5,696,571	6,113,004
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
開館日数	日	297	294	294	295	
健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	37	60	58	52	
ことぶき教室実施回数	回	60	99	100	100	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度	
利用者数	人	26,000	24,873	25,479	24,978	
健康づくり(介護予防)事業ことぶき教室参加者数	人	3,200	3,102	3,015	2,666	

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

施設の老朽化により2階大広間の改修工事を行い、サービスの充実に努めた。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[3]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	各種サロンやNPOと協働した講座を開催した他、舞台朗読や塗り絵のサロンを新たに開催し、利用者数増につながった。様々な教室事業を開催し、高齢者に教養、レクリエーション等の場を提供するという役割を十分に果たしている。
(2) 施設の維持管理	A	老朽化していた2階大広間の改修工事を行い、サービスの充実に努めた。その他も、適切な維持管理に努め、高水準のサービスを提供している。
(3) 利用者の満足度	A	改修工事の実施や、震災により入浴サービスを休止したため、利用者数が減少したものの、満足度調査の結果は高い評価であり、関係団体等と連携を行うなど、適切な事業運営がなされている。
(4) 歳入歳出	A	指定管理料は縮減されているものの、管理経費が増えており、経費削減の努力が必要であるが、概ね適切に予算執行されている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	利用者数は減少しているが、NPOと協働した講座や新たな講座の開催など、利用者拡大の取組みを行っており、利用者の満足度は高い。
-----------	----------------------------------------------------------------

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

施設の老朽化が激しいため、今後も計画的に修繕工事を行いながら、講座内容の改善など利用者の拡大の取組みを強化していく。また、経費削減のための経営努力をより一層行う必要がある。